

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は議員個々の自由編集（会議録にもとづき）で掲載しております。全文は会議録をご参照ください。掲載順は質問順としています。

役場あげて 窓口サービスの向上

答弁：再点検厳しく取組む



牛房 良嗣 議員

牛房 役場には年間10万人を超える町民が要件のため足を運ぶ、職員の努力で窓口サービスは年々改善されてきたが「役場には緊張感がない、対応もよくない」など町民の厳しい目と声がある。職

- 員に対する指導は。
- 町長 指摘を真摯に受けとめ職員の危機感が、住民に伝わる窓口対応の改革を進めていく。
- 牛房 ごくごく基本的取組みを提案する。
- ①元気な挨拶と分りやすい丁寧な説明を。
- ②課内及び机上の整理整頓、カウンターに花一輪。
- ③来訪者のたらい回しは絶対するな。
- ④受話器を取ったらず課名と氏名を。
- ⑤椅子に座っての対面対話、全庁ローカウンター設置。
- ⑥申請・陳情には必ず回答を。
- ⑦課長も率先窓口対応に立つ。
- ⑧対応したら必ず用件メモ電話メモの記録をとる。



▲庁舎窓口の応対



▲町内の認可外保育所4園のうちの1園

認可外保育

町の支援の考えは

答弁：今後の検討課題



助村 千代子 議員

助村 町の認可外保育所は、県の厳しい指導監督基準を満たしているところがほとんどで、質の高い保育ができるよう努力をされている。

できないものか。
町長 厳しい財政状況の中で、子育て支援事業には努力をしなければと思っ

形成がしっかりとできる5歳児で8%、9%の割合で見つかるといわれているので、早期発見で早期療育に継げるために5歳児健診の導入を。
町長 福岡県内で5歳児健診を実施している自治体は4つある。

協働の拠点 準備会の立ち上げを

答弁：一つの方法である



丸山 真智子 議員

丸山 協働のまちづくりのための拠点づくり、コーディネーターの配置が実現しない。準備に一年はかかる。早く立ち上げを。総務課長 コーディネーターは人材探しが課題と思う。

町長 協働を進めるにはまちづくりやボランティアの活動拠点を設置してコーディネーターを配置することは急務である。早急に行けるところから整備したい。

い。やる気が足りない。
町長 行政の知恵だけでは特産品に結びつかない。実際だれかやるのか人の問題、環境の問題ではないかと思う。努力はしていきたい。

特産品開発が進まない

（その他の質問）
ふるさと納税制度

丸山 産業振興の点からJAと商工業者を仲介する

- 子ども・学校の安全
- 遊びの指導者養成

るのは行政の役割と思う。提案しても実行されな



▲田富JAふれあいの里